

心身栄養療法研究会主催：東京講演会

# オーソモレキュラー サイカイアトリー<sup>※</sup>

明日から  
臨床で使える

精神科・心療内科領域への検査データ評価・臨床応用

※オーソモレキュラー療法(orthomolecular medicine)は、我が国では「栄養療法」「分子栄養学」「分子整合栄養医学」とも称され、栄養素－適切な食事やサプリメント・点滴、糖質コントローラーを用いて、わたしたちの身体を構成する約60兆個の細胞のはたらきを向上させて、様々な病気を治す療法です。海外では1960年代より、精神疾患領域の治療として応用され始め、今では、その応用範囲はほぼすべての医療分野に及びまです。ここにち我が国においても多くの医師がこれを学び、全国の医療機関(約1,500施設)において、オーソモレキュラー療法が日常診療に取り入れられ、そして素晴らしい成果が着実に上がっています。

平成29年 **8月20日** **日** **AP品川** (品川駅徒歩3分)  
**13:00~17:00**  
(開場12:15~)

**対象** 医師 (定員120名、申込順)

**参加費** 2,000円(税込)  
当日受付会場にてお支払いください

**締切** 平成29年8月10日(木)

座長: **市来真彦** 先生 東京医科大学メンタルヘルス科准教授



講演  
**1**

講師: **みぞ ぐち とおる**  
**溝口 徹** 先生  
新宿溝口クリニック院長

**演題** 統合失調症への栄養介入による改善  
～オーソモレキュラー療法の紹介～

**趣旨** オーソモレキュラー療法は、1960年代から欧米を中心に行われている精神疾患への栄養介入による治療法です。本講演では、統合失調症への栄養介入の実際を症例の経過とともに提示し、オーソモレキュラー療法の歴史や基礎について紹介します。



講演  
**2**

講師: **ひめ の とも み**  
**姫野 友美** 先生  
ひめのともみクリニック院長  
日本薬科大学 漢方薬科 教授

**演題** うつ病による休職、復職後の再発予防に栄養介入が役立った症例  
～標準治療との経済効果比較～

**趣旨** 企業におけるうつ病の休職者は年々増加しており、これによる会社の負担、および経済的損失は大きいと考えます。なかでも復職後の再発率は高く、初回復職後の再発率は50%です。当院では、うつ病の治療に分子整合栄養医学に基づいた身体および脳のエネルギー産生を促進するオーソモレキュラー療法を併用しており、これにより復職後再発を防止することのできた症例を報告します。



講演  
**3**

講師: **く ぬぎ ひろし**  
**功刀 浩** 先生  
国立精神・神経医療研究センター  
神経研究所 疾病研究第三部 部長

**演題** 「うつ病と食生活の関係」

**趣旨** うつ病などの精神疾患の治療に対して、これまで日本では食事や栄養学的な視点でのアプローチがされてきませんでした。しかし近年、精神疾患と食生活や栄養摂取に関する報告が相次いで発表されるようになり、国立精神・神経医療研究センターでも精神疾患の栄養学的側面に着目した臨床研究に取り組んでいます。

オーソモレキュラー療法の  
詳細につきましては

[オーソモレキュラー.jp](http://orthomolecular.jp)

検索

をご参照  
ください

協賛

●一般社団法人オーソモレキュラー.jp

お問い合わせ

心身栄養療法研究会事務局

(一般社団法人オーソモレキュラー.jp内)

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-11-6 TEL.0120-11-3805